

災害に即応可能な災害対応体制の構築に向けた取組を推進。（令和 8 年度から運用開始予定）

- 災害発生のおそれ段階から災害対策本部を設置するよう設置基準を見直し
- 災害の規模や特性に応じた組織運用のために配備体制を見直し
- 災害発生のおそれ段階から災害対策本部を設置することにより災害救助法の迅速な適用にも寄与

■ 主な設置基準（案）

災害発生後に留まらず、災害発生のおそれ段階から災害対策本部を設置。

|                 | 現行               | 見直し後                                         |
|-----------------|------------------|----------------------------------------------|
| 風水害             | 特別警報             | 特別警報<br>[新] 台風接近に伴う気象警報<br>[新] 顕著な大雨に関する気象情報 |
| 地震              | 県内震度 5 強以上       | [新] 県内震度 5 弱以上                               |
| 南海トラフ地震<br>臨時情報 | —<br>(災害警戒体制で対応) | [新] 巨大地震注意<br>[新] 巨大地震警戒                     |

■ 配備体制（案）

配備区分に新たに「警戒」を追加し、災害の規模や特性に応じて組織を運用。

| 配備区分 | [新] 警戒                             | A 動員                       | B 動員                       | C 動員                  |
|------|------------------------------------|----------------------------|----------------------------|-----------------------|
| 配備規模 | 危機管理部局<br>及び<br>各部局主管課を<br>中心とした体制 | 全職員の約1/5の<br>動員規模による<br>体制 | 全職員の約1/3の<br>動員規模による<br>体制 | 全職員の<br>動員規模による<br>体制 |

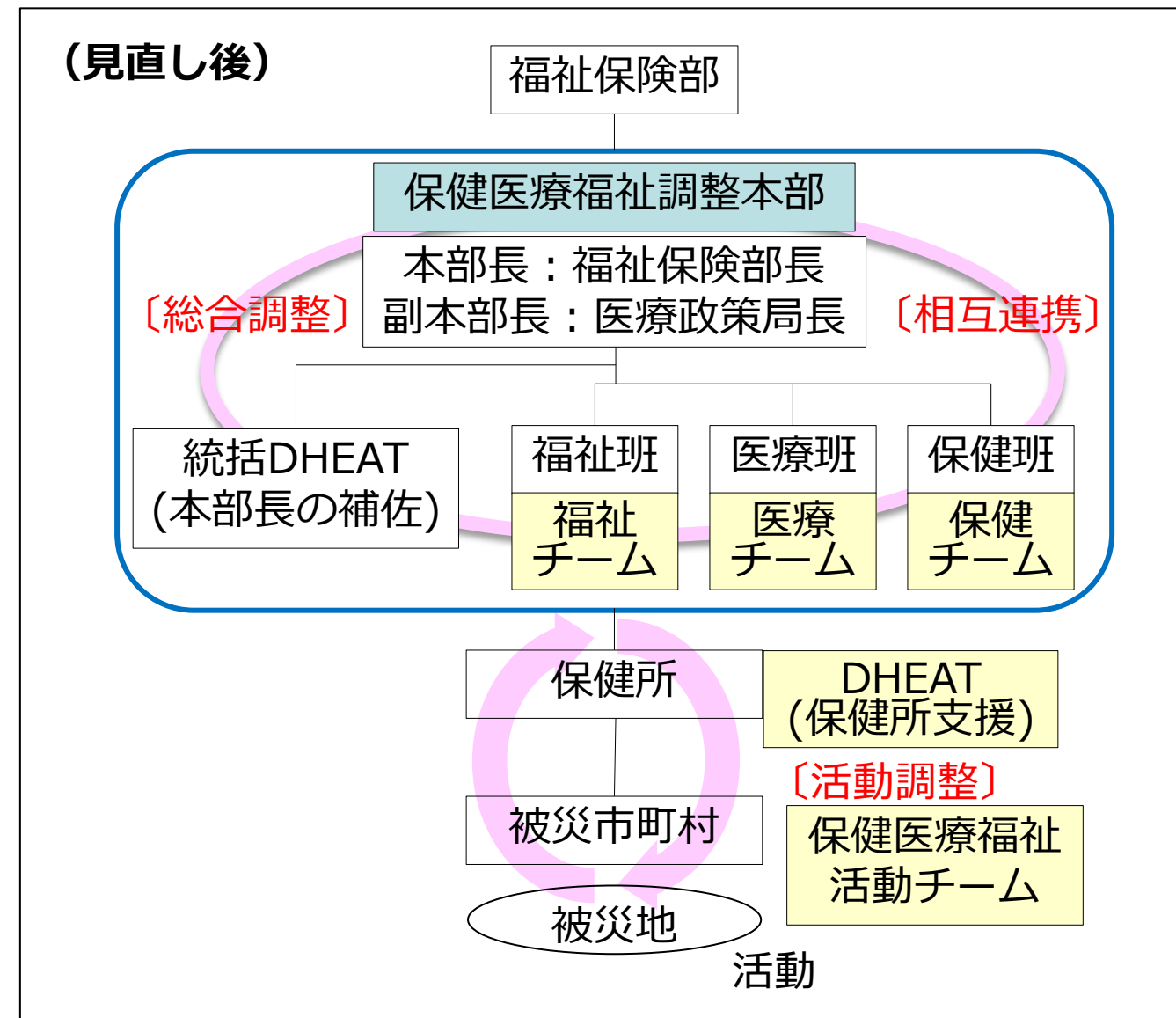
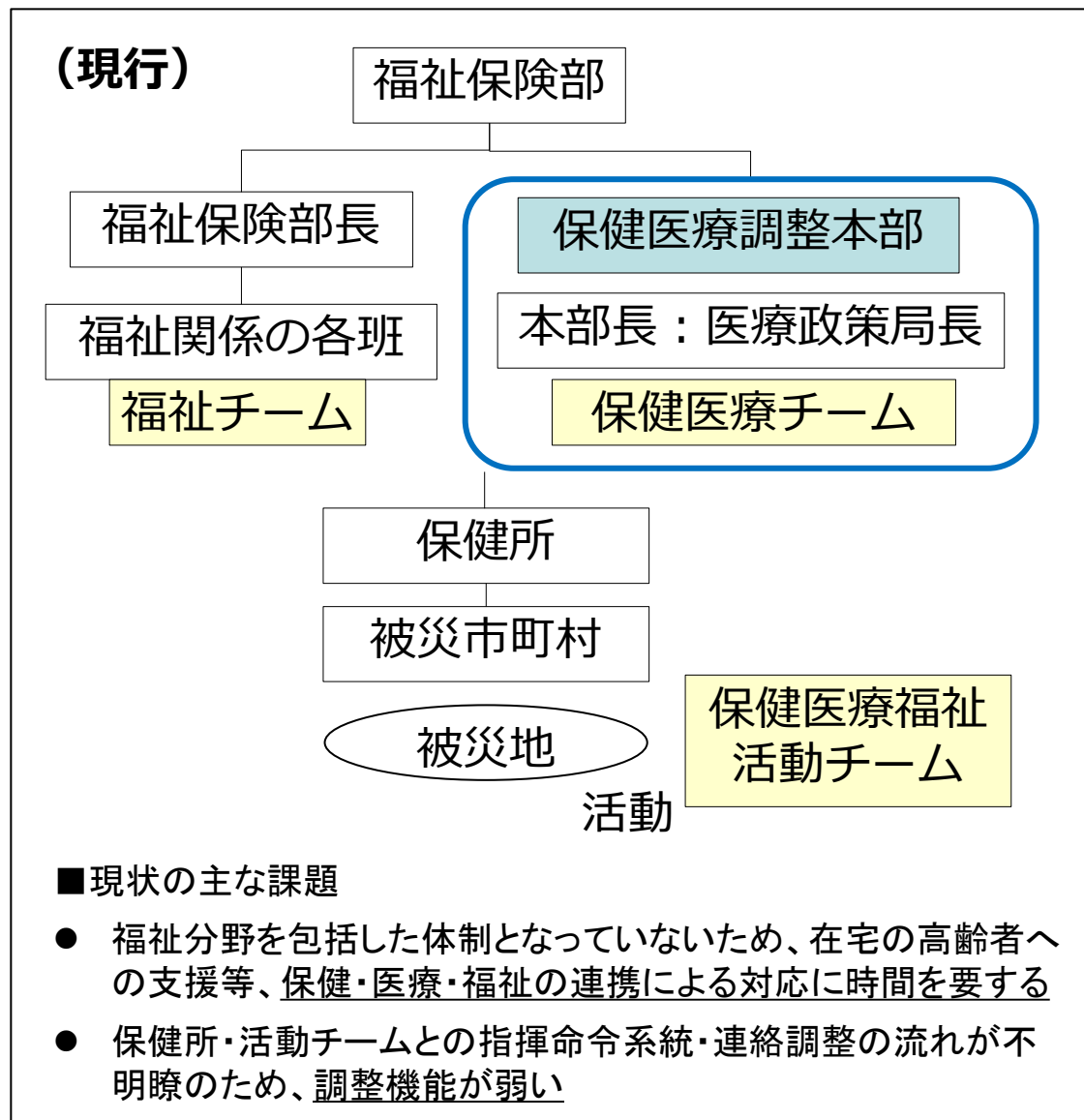
## 災害対策本部体制の見直しについて 2 / 2

保健医療福祉分野の総合調整機能を強化。

- 保健医療のみならず、在宅・車中泊を含めた要配慮者への福祉的支援が必要
- 保健医療福祉活動を行う関係機関との連携、情報分析、活動チームの派遣調整等を行う司令塔機能を強化
- 保健医療調整本部に福祉分野を包括した「保健医療福祉調整本部」に体制を変更

## ■ 災害対策本部における福祉保険部の組織見直し（案）

平時の部局にとらわれず、保健・医療・福祉活動の総合調整を行う体制を整備。



※主な保健医療福祉活動チーム：〔福祉〕災害派遣福祉チーム（DWAT）、日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）。〔医療〕災害派遣医療チーム（DMAT）、日本医師会災害医療チーム（JMAT）、日本赤十字社の救護班、独立行政法人国立病院機構の医療班、全日本医療支援班（AMAT）、薬剤師チーム、災害派遣精神医療チーム（DPAT）、災害支援ナース等の看護師チーム。〔保健〕保健師等チーム、日本災害歯科支援チーム（JDAT）、管理栄養士チーム、日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT）、災害時感染症制御支援チーム（DICT）等